

## SAR衛星データソリューションによる災害状況把握

SAR衛星は、災害前後の観測データ比較により、広範囲な被害地域の状況を迅速に把握することが可能です。

例えば、地震発生時には建物倒壊、地盤沈下、土砂崩れなどの被害状況を、洪水発生時には浸水域や増水箇所を特定することができます。

さらに、時系列のSARデータを用いた干渉SAR解析により、地滑りや地盤沈下などの地盤リスクをモニタリングし、災害発生前の危険箇所を検出することも可能です。

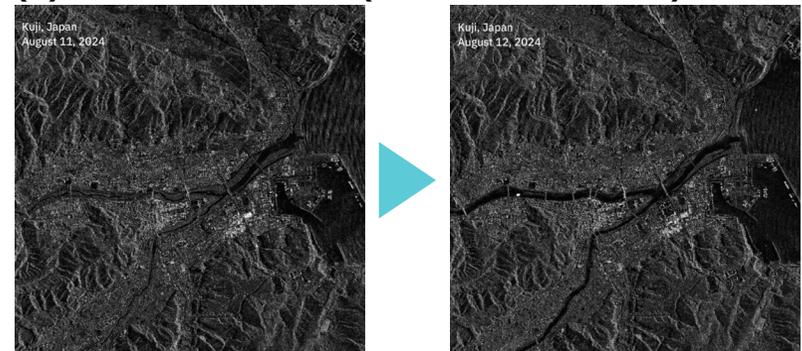
法人・団体名	株式会社Synspective
サービス概要	<p>天候や昼夜に左右されずに地表を観測できるSAR（合成開口レーダー）衛星は、災害発生時の状況把握に非常に有効な手段として注目されています。Synspectiveでは、SAR衛星データソリューションとして、Disaster Damage Assessment (DDA)、Flood Damage Assessment (FDA)、Land Displacement Monitoring (LDM) を提供し、災害対応および減災に貢献しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DDA（地震・火山噴火被害評価）：地震による建物の倒壊や地盤の変化、火山噴火による被害状況などを、災害前後のSAR衛星画像比較により検出します。</li> <li>・ FDA（洪水被害評価）：洪水発生時の浸水域や浸水深を、広範囲にわたり迅速に把握することを可能にします。</li> <li>・ LDM（地盤変動モニタリング）：継続的な観測と干渉SAR解析技術により、広域の地盤変動を検出し、地滑りや地盤沈下などのリスクを評価します。</li> </ul>
主なユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府・国際公共機関</li> <li>・ 建設・土木</li> <li>・ 損害保険など</li> </ul>
活用される衛星	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Synspective "StriX"</li> <li>・ 他SAR衛星</li> </ul>
URL	<a href="https://synspective.com/jp/">https://synspective.com/jp/</a>

### (1) 令和6年能登半島地震、輪島市（2024年1月）



© Synspective Inc.

### (2) 台風5号、岩手県久慈市（2024年8月11日・12日）



© Synspective Inc.